

心を打つ感動の記録!

認知症は治せない。だが、再び日常生活を取り戻せた！
寄り添い歩んだ二十年余の感動の記録がここに。

心斎デサビス

「モモの家」出会った人々の物語

看護師／元「モモの家」施設長 矢崎タミコ／著

題字／伊澤美樹子・発行／立花書院

定価 1,100円(本体1,000円+税)

2023年10月発売
A5版238頁 / オールカラー



余命3ヶ月と告げられたハツエさんは入院を拒み、車椅子での来所となった。そして1ヶ月余り後…。彼女は百人一首をすらすらと読み、日記や習字も書かれるようになり、アルツハイマー病、パーキンソン病から再び人生の輝きを取り戻した。(本文より)



モモの家で借りた畑で芋ほり中の皆さん

令和3年春、新聞の訃報欄に寛枝さんの名前が載っていた。寛枝さんと出会った15年の間に彼女を苦しめた妄想も消え、「モモの家」は彼女の“第二のふるさと”になった。だが、終の棲家にはなれなかった。それが心残りでもあり、申し訳なさでもある。

ある日の診療所に女子高校生が母親に連れられて受診に訪れた。金髪で、イヤリング、酒に酔ってグデングデンである。彼女は「モモの家」でのボランティアを通して再生していく。やがて看護師の国家試験に合格して巣立って行った。(ジジ・パパさんの力より)

美喜子さんは歩くこともままならず、支えられるようにして診療所を受診された。うつ症状で精神薬に頼っていた彼女は、減薬の結果、1年余りで劇的に元気を取り戻し、ついにほぼ日常生活が普通に送れるようになった。書の腕前は相当のもので、あちこちで優秀賞をもらった。

著者紹介 矢崎 タミコ

1946年 島根県邑南町生まれ
1967年 鳥大医学部付属看護学校卒業
32年間同付属病院勤務
2002年 米子市米原に医師の夫と共に
(平成14年) 診療所&認知症通所介護施設「モモの家」開設
2023年 3月末で「モモの家」退職
(令和5年) yazamomo@outlook.jp

ふれあい広場 やざき
〒683-0804 鳥取県米子市米原9丁目3番10号
(TEL)0859-23-5656 (FAX)0859-23-5600

ヒューマンケア「モモの家」●住所及びFAXは(ふれあい広場やざき)と同じ
(TEL)0859-21-5655 <https://momo-no-ie.com>



氏名

郵便番号・住所

電話番号

注文数

心斎デサビス 「モモの家」出会った人々の物語 矢崎 タミコ / 著 注文書

〈申込先〉著者 矢崎 タミコ
ふれあい広場 やざき 気付
TEL(0859)23-5656
FAX(0859)23-5600

*本申込書にご記入いただいたお客様の個人情報は、書籍の注文確認の目的以外に使用することはありません。